

第 71 回 美学会 全国大会 (オンライン開催) プログラム

10 月 3 日			
11:00~11:50	総会 (オンライン開催)		
11:50~13:20	昼休憩		
一般発表 13:20~15:30 1 人 40 分 (発表 30 分、 質疑応答 10 分)	音楽と音	芸術と文化	映画・映像
	① オンライン 1	② オンライン 2	③ オンライン 3
13:20~14:00	西田紘子 (九州大学) : フーゴ・リーマンの『音楽事典』 にみる概念変容と隣接学問分野との 相互作用—和声理論を中心に—	佐藤紗良 (東京大学) : ヘネラリーフェ庭園修復史におけるプ リエト＝モレーノの役割—トーレス・ バルバスとの比較を中心に—	李珂 (リカ) (神戸大学) : 劉呐鷗の『現代映画』と映画出版の 大衆的公共圏
14:05~14:45	小寺 未知留 (立命館大学) : マックス・ニューハウスは何を「音 楽」と呼んだのか	田嶋麗 (実践女子大学) : 「もどき」芸における嘲笑の考察	西橋卓也 (神戸大学) : 初期映画における粉の機能について —白人／黒人の人種的二項対立を超 えて—
14:50~15:30	中川克志 (横浜国立大学) : 「Sound/Art」展 (1984) のパース ペクティヴ—〈サウンド・アートと は何か〉とは何か—	Jean Lin (東京大学) : 文化的性質を含む作品の鑑賞における 諸問題—文化的借用の議論をてがかり に—	山崎みず穂 (森美術館) : ジャン＝アル・アーニのシャド ウ・サイト I と湾岸戦争 —文化に植え付けられた他者の視線 と権力／知からの脱却—
司会	田之頭一知 (大阪芸術大学)	高安啓介 (大阪大学)	前田茂 (京都精華大学)

若手研究者 フォーラム 15:50～17:30 1人30分(発表20分、質疑応答10分)	美学1	美学2	美術1
	④ オンライン1	⑤ オンライン2	⑥ オンライン3
15:50～16:20	<p>阿達佳子： ハイデガーの芸術論における裂け目（Riß）の概念について—伝統的形而上学との比較の観点から—</p>	<p>板野誠（東京藝術大学）： 美的義務論における“Why be aesthetic?”という問い</p>	<p>池田真実子（京都大学）： 「傾向芸術」としてのオットー・ディックス作品を問う—イメージによる社会的・政治的意味の揺らぎをめぐって—</p>
16:25～16:55	<p>常深新平（慶應義塾大学）： モチーフと表象の何が似ているのか—メルロ＝ポンティにおける種性質の实在論—</p>	<p>児玉北斗（立命館大学）： 2000年以降のダンス研究におけるネルソン・グッドマンのノーテーション理論—争点としてのオートグラフィック／アログラフィック—</p>	<p>岩澤龍彦（専修大学）： 1920年代のハルネス・マイヤーの「集団（Kollektiv）」概念について</p>
17:00～17:30	<p>王萍（重慶大学）： 今道友信の「超越」論に見る「東洋」と「西洋」</p>	<p>岡田進之介（東京大学）： 想像的抵抗の問題について—物語参与の観点から—</p>	<p>松崎章人（関西大学）： ウォルター・リチャード・シッカート作《イングリッシュ・エコー・シリーズ》にみる特異性—世界大戦間期イギリス画壇におけるモダニズム概念をめぐる考察—</p>
司会	杉山卓史（京都大学）	森功次（大妻女子大学）	池田祐子（京都国立近代美術館）

10月4日

一般発表 9:30~11:40 1人40分(発表30分、質疑応答10分)	彫刻論	音楽理論	
	⑦ オンライン1	⑧ オンライン2	
9:30~10:10	中村泰士(パリ第一大学) : 彫刻の再現空間と身体空間	杉山恵梨(大阪大学) : 後期バロック音楽に関する理論書と研究書の邦訳書にみる古楽受容—1970-80年代を中心に—	
10:15~10:55	藤本奈七(関西学院大学) : ドガの競走馬彫刻からみる動きの表現	岡野宏(東京大学教養学部) : マッテゾンにおける自然と技術の媒介としての「模倣」—「カノンの解剖学」を中心に—	
11:00~11:40	諏訪園真子(お茶の水女子大学) : 20世紀初頭の公共彫刻と「他者」—サン=マルソー《万国郵便連合記念碑》(1909)における大陸の寓意—	加藤幸一(University of Southampton) : ニューミュージコロジーの時代におけるフォーマリズムの在り方—ヘボコスキーのソナタ理論から—	
司会	三木順子(京都工芸繊維大学)	前川陽郁(大阪芸術大学)	
11:40~12:45	昼休憩		
若手研究者 フォーラム 12:45~13:50 1人30分(発表20分、質疑応答10分)	映像・演劇	現代美術1	現代美術2
	⑨ オンライン1	⑩ オンライン2	⑪ オンライン3
12:45~13:15	(※発表中止) 後藤孝典(関西学院大学) : ジョン・ゾーンの作風形成におけるアメリカ前衛演劇の影響—ゾーン/フォアマンによるオペラ《Astronome》を例に—	橋本紘明(大阪芸術大学) : 「具体美術協会」草創期における前衛書の受容	野崎梢(京都大学) : 『聖オルランの再受肉』における聖遺物—《聖骸布》の視点から—
13:20~13:50	佐藤佳弥(京都大学) : ブルーノ・ムナーリの視覚実験について	李珉炅(京都大学) : ナムジュン・パイクにおける「アクション・ミュージック」の意味と重要性	飯沼洋子(京都大学) : 現代アート作品にみる布と自我の関係性—リジア・クラークの作品を中心として—
司会	前田茂(京都精華大学)	平井章一(関西大学)	大島徹也(多摩美術大学)

一般発表 14:10～16:20 1人40分(発表30分、質疑 応答10分)	美学	芸術史
	⑫ オンライン1	⑬ オンライン2
14:10～14:50	出村民(大阪大学) : 描写の再認識再考 —カテゴリ化能力に基づく考察—	鍵谷怜(東京大学) : 戦後日本における同時代アジア美術の 受容と冷戦 —1950～70年代を中心に—
14:55～15:35	井奥陽子(東京藝術大学) : 占術とノの美学 —A. G. バウムガル テンにおける〈予兆の記号術〉の構 想とその帰趨—	松本理沙(京都大学) : 1980年代のアクティヴィズム・ア ートにおけるコミュニティ概念
15:40～16:20	足立恵理子(京都大学) : 柳宗悦における神秘主義の民藝論お よび仏教美学への影響	若名咲香(筑波大学) : J. W. ウォーターハウスの《アポロと ダフネ》に関する考察
司会	秋庭史典(名古屋大学)	竹中悠美(立命館大学)

若手研究者 フォーラム 16:40～18:20 1人30分(発表20分、質疑 応答10分)	音楽	美術2
	⑭ オンライン1	⑮ オンライン2
16:40～17:10	中村 将武(東京大学) : アナログメディアのリバイバルにお ける「ハイ・ファイ」と「ロー・フ アイ」	阿部桃子(東北大学) : ジャンバッティスタ・ティエポロの描 法と主題へのアプローチについての 考察—レンブラント作品 からの影響分析—
17:15～17:45	石井萌加(東京大学) : もう一人の「ドイツ的」作曲家 —W. ニーマンによる伝記で描かれた ブラームス像—	大槻朋子(京都大学) : 物語としてのヴァザーリ『芸術家列 伝』 —「ミケランジェロ伝」システ ィーナ礼拝堂天井画成立をめぐる記述 を中心に—
17:50～18:20		中嶋康太(慶應義塾大学) : ウィリアム・ブレイク《日の老いたる もの》における円環の象徴表現 —負 の側面を象徴する太陽との関連性を中 心に—
司会	馬場有里子(エリザベト音楽大学)	松原知生(西南学院大学)